

# 保護者と十分に連携を図った 「個別の教育支援計画」の活用・改善に関する実践例

留萌管内では、特別支援連携協議会において「個別の教育支援計画」等の活用による切れ目のない一貫した指導や支援の充実を重点の一つとして設定し、取組を進めてきました。

本資料には、その取組の一環として、各関係機関で行ってきた優れた実践を掲載しました。管内の特別支援教育の充実に向けた各関係機関での取組の参考として、本資料を御活用ください。

令和2年3月 留萌教育局管内専門家チーム

## 【保護者の思いを受け止め、地域が一体となって活用・改善に関わった実践】

### 1 関係者間で行うケース会議等での取組（A町）

#### 日常の取組

これまでの指導や支援の経過を踏まえて、今後の方策を保護者と関係者が検討できるよう、関係者間で行うケース会議に保護者が継続して参加するとともに、「個別の教育支援計画」を活用して、本人の状況や保護者の願い、関わりのあった機関等の情報を共有し、話し合いを進めました。その結果を踏まえて、取組の成果を共有するとともに、改善点を明確にしました。

#### 【保護者の声】



「個別の教育支援計画」を活用したことで、次の目標に向けた取組が理解しやすかったです。

### 2 地域全体の連携に活用する取組（B町）

#### 引継ぎの充実

入学及び進学時における引継ぎを地域全体で行い、本人にとって必要な指導や支援を関係者間で共有できるよう、学校、保護者及び関係機関が連携する場を設定して、「個別の教育支援計画」を活用しながら現状の課題と成果を整理して今後の方策を検討しました。その結果を踏まえて、入学や進学後に困難を示すことが予想されることを考慮し、環境整備を進めました。

「個別の教育支援計画」を活用したことで、学校生活への移行について見通しがもてました。

#### 【保護者の声】



## 【本人と保護者の気持ちに寄り添い学校全体で活用・改善に関わった実践】

### 3 「教育相談」の機会を活用した取組（C小学校）

#### 日常の取組

校内委員会において組織的・継続的な保護者支援を充実させることができるよう、教育相談を複数回実施し、本人との関わり方について保護者の思いを聞き取り、日常的な指導や支援について、学校と家庭での役割を明確にし、「個別の教育支援計画」にその内容を反映するとともに、校内の会議等において、保護者支援を含めて今後必要な方策について、情報共有を行いました。

「個別の教育支援計画」を活用したことで、校内支援体制による保護者支援を進めることができました。

#### 【教職員の声】



### 4 保護者と本人との面談における取組（D中学校）

#### 進路指導に向けて

生徒が自己理解や自己受容を深め、今後の進路に向けた取組と一緒に考えていくことができるよう、専門家チーム委員による巡回相談の結果について、「個別の教育支援計画」を活用しながら、保護者と当該生徒に説明するとともに、今後の取組について一緒に検討して、その内容を「個別の教育支援計画」に記録し、校内で情報共有を行いました。

#### 【教職員の声】



「個別の教育支援計画」を活用したことで、社会的自立に向けて必要な方策を生徒と一緒に検討できました。